みくすみ広報

昭和50年
8月1日
149号

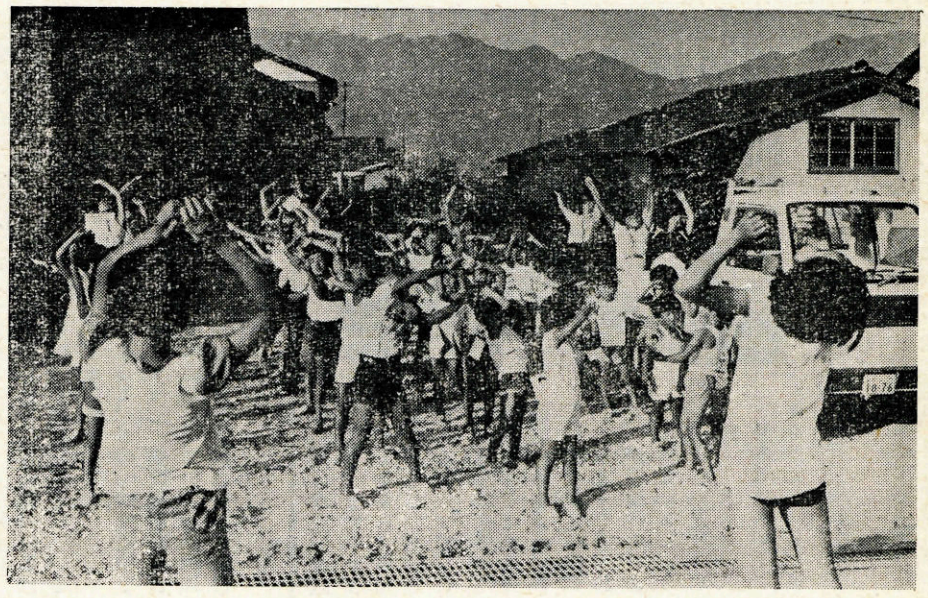
発行所
三隅町広報委員会
発行者　森沢雄治
編集人　田村守

人口のうごき
6月30日現在
世帯数　1,912戸
人口　男　3,454人
　　女　3,874
　　計　7,328

昭和五十年
国勢調査
十月一日

八月は町県民税第二期分を納める月です

みんな早起き
夏の健康増進



八月十八日朝五時五十分
集まろう明倫小学校へ
夏期巡回ラジオ体操会
全国中継放送に

皆様に親しまれている、朝のラジオ体操会が、郵政省簡易保険局、日本放送協会、全国ラジオ体操連盟、三隅町主催のもとに、次の通り盛大に開催されることになりました
老若男女をとわず、いまやラジオ体操は、国民の健康の保持、増進をはかるため全国津々浦々の小、中学校は勿論、各職場、各事業所において一日の日課の中に取り入れられております。
ラジオ体操は健康保持の源であり、長生きの強壮剤でもあります。
三隅町は健康宣言の町であります。幸いこの度全国中継により体操会が放送されますので、町民全員朝のすがすがしい空気の中で、元気いっぱいラジオ体操をいたしましょう。町民皆様方の多数の参加をお願いいたします。

・とき　八月十八日午前五時五十分
・ところ　明倫小学校々庭（雨天の場合は明倫小学校屋内運動場）
・放送時刻　全国中継放送十八日午前六時三十分から六時四十分まで
・講師、伴奏者
講師　柳川英麿
伴奏者　大久保三郎
（三隅郵便局長松野利久）

・上地区（兎渡谷以東）と下地区（沢江、浅田、小島）で車の便がない方のために貸切バスを各々一台宛朝五時三十分から運行します。のばせは町のマイクロバスを運行しますのでご利用下さい。帰りも運行します。
（公民館）

赤ちゃんの健康

「湿　疹」

始はあせもと思ったのがいつの間にか全身に広がり赤ちゃんは気嫌が悪くなるし医者に通っても仲々治らない。さてお母さん考えてみましょうもう一度。ところで湿疹が治りにくいのは？体質からくるからです。
赤ちゃんの湿疹にはピンからキリまであり、ピンでとまるかキリまでいくかは、手当の上手下手より体質による。しかしどんなひどいものでも一才をすぎるとずつと軽くなり満3才までにはほとんど治る、大切なことはお母さんがノイローゼにならぬこと。転々と医者を変るのは子供を注射恐怖症にしてしまうのがおちです。痒がる時はかかせぬこと。注射はあまり効果ない。シーツや枕カバー等まめにかえ変化のある時だけ受診。時がくれば治る。日光浴は紫外線が刺激になる。栄養は母乳であれ人工乳であれ湿疹のできる者はできる。過剰栄養をやるとひどくなる……等の場合がある。湿疹の御相談はいつでも保健衛生課までどうぞ

心の健康

〃病は気から〃という言葉がある。人間の行動は、大脳によつて支配され、動かされるが、人間の精神構造は複雑で人によつて表現の仕方が異なり、1プラス1イコール2とならぬのが常である。そしてその複雑な精神に行動が支配される事が多いものである我々が、日常生活を送つている毎日において、自分の精神状態によつて、その日一日の健康が左右されるという経験は誰もかあるであろう。何か悩み事や、心配事があると、食欲がなくなつたり、頭が痛くなつたり、胃の調子がおかしくなつたりというような例はよくあることである。それが一時的なもので、すぐ回復にむかえば、あまり問題はないのだが、長期間続いてくると大きな疾病を招くことになる。
最近では、精神身体医学と称される医学分野がクローズアップされてきている。これは人間の精神と身体は切り離しては考えられないことで、身体的な治療を施す前にまず心の治療をしようという考え方を基としている。
高度経済成長をとげた日本ではあるがその蔭で、ストレスの蓄積による疾病は後を断たない。健康な日常生活を送る為には、まず心の健康を保つよう、日頃からの努力が必要である。

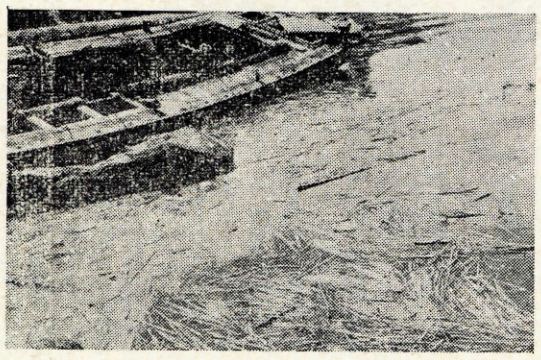
湯免温泉まつり
八月九日

前号でお知らせしました湯免温泉まつりが左記のとおり盛大に行なわれることになりましたので多数　参観されますようお知らせします。

時間
午後五時から
本場徳島「阿波踊り」
福引き　バザー
もちまき　夜店
午後七時三十分
素人のどじまん大会
（申込受付は三隅町商工会へ）
午後八時三十分
盆踊大会（五チーム予定）
みんなで踊る阿波踊り
協賛行事
三隅町山草会、手づくね会合同の展示会
於三隅町老人センター
午後一時から一〇時まで
車でおいでの方は交通指導員の指導に従い、指定された駐車場に駐車しましょう。
駐車場〃山九運輸機工の広場
湯免道路の周囲

「海をきれいにする会発足」

去る七月十四日、町役場において産業別経営代表者、漁協、農協、衛生自治会、町議会及び仙崎海上保安部、長門保健所など各関係機関の出席のもと『海をきれいにする会』を発足させて、永続的にこの運動を展開することに決定しました。
これは、漁民にとつて、かけがえのない大切な財産である海が近年、産業、生活廃棄物や汚濁水でだんだんと汚染され、漁場の荒廃が進行して、海は陸上のすべての終末処理場と化している状況であります
そこで沿岸の野波瀬、小島沢江、飯井の住民は自ら率先して『物を海に捨てない、流さない』ことを実践すると共に、全町民が連帯感を強めて海を愛し、きれいにし、漁民の生活の場を保全し、安心して喰べられる魚介類を生産して貰うため、この運動を展開しようとするものでありますので町民の皆さんの御協力を切にお願いします。



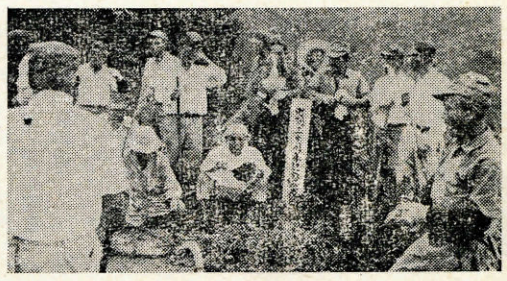
行事メモ

8月8日	農業委員会
8月9日	湯免温泉まつり
中旬	訪問診査
8月19日	健康相談日
8月20日	ツベルクリン反応
8月21日	乳児検診
8月22日	BCG
8月23日	消防団訓練
8月24日	〃
下旬	民生委員会

みくすみニュース

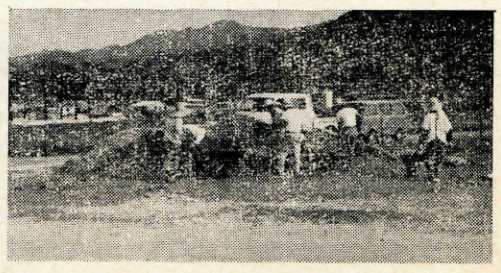
議員さんの下刈作業

町制三十周年を記念して滝坂の町有林約一町歩を議員さんは造林されましたが、この山を撫育するため毎年一回夏期の下刈作業を行つておりますが今年も去る七月五日全員参加され汗を流しました。



子供の広場作り

小島部落、下東方部落、殿村新開部落の子供会育成会が協同して養鰻場を借りて整地作業を行い、子ども達が運動できるよう立派な広場を作りました。今毎日球技の練習に励んでおり、大変子ども達に喜ばれております。

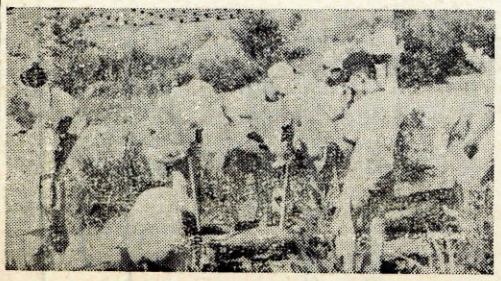


清風キャラバン　大成功

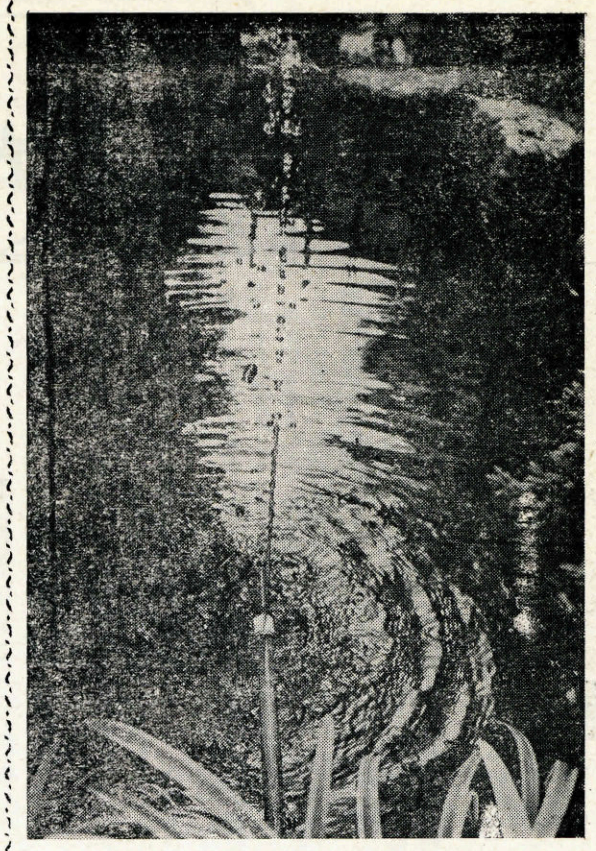
最も暑い七月十九日、二十日の二日に亘り青年団、体育協会、子ども会連協主催で行われた二十一粁のキャラバンは、始め心配された事故もなく青年男女の綿密な計画と献身的な努力によつて参加者百三十名無事に萩、三隅間を踏破して、各自体力に自信を得ました。

中学一年生が宿泊訓練

三隅中学一年生全員は、去る七月二十一日から二泊三日秋芳少年自然の家に宿泊、緑したたる秋吉台の大自然の中で心身両面の鍛練をしました野外炊事、天体観測、ハイキング、キャンプファイヤー、オリエンテーリングなどの行事は生徒たちに強く印象に残つたようです。



水の陰影



三隅写真友の会提供

ほ場整備と構造改善

圃場整備事業がいよいよ今秋よりスタートしますが、圃区を大きくし道水路を完備する意義は、これを生産の場として高能率な生産、農業を営むことが出来ることだと思います。

現在の中小機械の生産過程から一挙に大型機械のシステム化生産を可能ならしめ、すばらしい生産性の向上を示して呉れます。

こうした生産体制に対して目下のところは、いろいろ是非論はありますが、農家の表情は事業をやつて見て初めて理解されている様で先進的事例を見ましても、その事は明白であります。

普通先進地では、圃場整備二年次より生産機械導入、三年次ライスセンター設置、四年目に、園芸施設や畜産団地造。五年目より農村生活向上を図る事業として、生活改善や、研修施設等の文化センターの建設、農村トレーニングセンター、農村下水排水、浄化施設等の事業に取組んでおり、これらの生産から生活施設に至る諸事業には国は二分の一補助金を交付し農村の振興を試みています。

その中で、生産機械は三〇～四〇馬力程度のもので、二〇町～三〇町歩単位に一台とし、それにセットし、田植機四台、コンバイン二台という様に、大体集団的に、協業組織を作つて運営しています。

この、生産機械の効率的利用法、生産組織の在り方、或は組み方については、本町の実情に添つた形を検討し、組み込みを行う予定であります

又、ライスセンターは、五二年産米を目途に運転することを想定し、センターの設置位置、型式、規模等を農協でつめることにしています。

このように漸く農業生産も他産業並みに近代化が進まんとしていますが、皆さんは、こうした時代の方向ゞ町の計画を知つて頂き、全体の歩調に協調してもらう事は勿論、無駄のないよう対処して頂き度いと思います。

と申しますのは、昨今、トラクターやコンバイン等の高額、高性能機械が個人経営にたくさん導入されておりますこれらは明かに採算度外視の購入ですが、外でもこうした過剰投資はたくさんあり、三隅町における稲作への機械投資総額は四億円、一年当り約六千万円、一年一〇a当り一万五千円掛けている勘定になり、これを近代化事業により合理的に組織化生産するならば補助の恩恵もあり約三分の一の経費で済む計算になりましょう。

このように、圃場整備事業を契機として、全く新しい姿をお互が造り出さなければなりませんが、何と云つても、農家一戸々々の個別計画を将来の上に立つて策定することが最も必要でありましょう。

そして、二次構の指定のもとで、経営拡大に参画し思い切つた農業の展開を図らんとされる方々の結集を切望して止みません。

さて、稲作生産が近代化した段階で、労力の有効利用を考える必要が生じます。

安定兼業の途を伸ばすこと。有利なものへの転職就業。自立農業への規模拡大、新しい部門経営の導入が考えられます。そこで町の中で、畜産団地等の開発も必要でありましょう。部落で同志がまとまつて、施設園芸団地を作つたり、畜産団地等へ参加農家として入植することも考えられましょう。

税 マイホームと税金

マイホームを建てたときに関係のある税金について説明しましょう。

まず、土地や建物を取得すると県税である不動産取得税がかかります。この税金は、不動産価額（市町村の固定資産課税台帳に記載されている評価額）の三%です。

そして、この土地や建物を登記すると、固定資産課税台帳に記載されている評価額に次の税率をかけた登録免許税がかかります。

一、所有権移転登記 …… 五%
二、所有権保存登記 …… 〇・六%

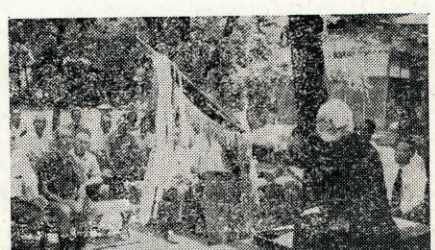
しかし、不動産取得税、登録免許税とも自分の居住用のものである場合は税金が安くなる制度があります。

ところで、家を建てると税金がかかるばかりではなく、次の条件に合えば、税金が最高三万円ずつ三年間所得税が控除されます。

一、昭和四十七年から五十一年末までに自分が住むための家の新築に着手するか新築家屋を購入したものであること。

二、その住宅の床面積が一六五平方メートル（四十八年以前取得のものは一三〇平方メートル）以下であること。

三、完成又は購入の日から六か月以内に入居し、引続いて居住していること。



畜産共進会

七月二十三日炎天下、市宮の馬場で和牛（生産牛）二〇頭、豚九頭が出品され、次のとおり入賞者が決り、十一時より褒賞が授与されました。

【和牛の部】

一等賞　田村　正
〃　山根豊彦
二等賞　岩本繁三
〃　山根豊一
〃　田村阜月
三等賞　浮村粂男
〃　多田敏一
〃　中野庄一
〃　山田実人
〃　田村　正
〃　田辺春雄
〃　山本吉郎

【養豚の部】

一等賞　田中　勤
二等賞　田村　勝
三等賞　笹見幸雄
〃　名和田健治

なお上位八頭については、九月二十五日油谷家畜市場で開催される大津郡畜産共進会に出場します。

農業経営者会議を設立

農村の生活をもつとうるおいのあるものに、住みよい町と、豊から家庭経済を築こうと、農業経営者の会議の設立総会が公民館で開催され、町長や農協長議会議員の激励を受け、発足しました。当日の参加者は三〇名でしたが、会員は約五〇名となりそうで、圃場整備を契機とし、今後の農村づくり、農業経営について計画策定を目指します。

心ある人の、今後の加入を係（農業委員会事務局）ではお待ちしています。

50年度事業計画

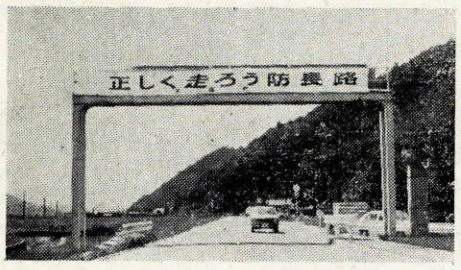
7月　設立総会
8月　部門別営農団地調査
　　経営目標の策定
9月　団地造成適地調査
　　団地構成模型図作成
11月　文化祭と農業まつり併行
　　農業ビジョン発表
1月　51年度農業施策座談会（関係団体との懇談会）
2月　部落座談会の開催
　　二次構の参画部門と会員の研修
3月　総会

三隅町農業委員の紹介

この度任期満了に伴ない農業委員の改選が行なわれ、左記のとおり決りました。

会長　山田恭輔　53　宗頭
副〃　山崎　清　45　上ゲ
委員　松浪　昇　49　下中小野
〃　岩本常一　45　麗
〃　中野松丸　63　浅田
〃　野村治作　61　豊原
〃　名和田健治　41　市
〃　熊野　勇　44　中村
〃　加藤慶治　58　豊原
〃　綿野孝一　54　野波瀬
〃　田村阜月　63　下中小野
〃　森清照雄　45　兎渡谷
〃　蔵本　覚　44　樅の木
〃　河野浅一　65　東方下
〃　森沢雄治　68　沢江

夏の交通事故防止



本年も1月以降の発生件数傷者数も増加の傾向が依然として続いております、これから暑さも厳しく運転者等疲労の増大は注意力を減退させ、またレジャーや帰省等による車両の著るしい増加と夏休みに入つて、こどもの戸外活動が活発になるなどから運転者のみなさん、夏期の事故防止に次のことをよく守り、お互いが事故のないように注意しましょう

一、正しい速度の励行

運転者はスピードをひかえめにし、安全速度を守り安全運転を励行する。

二、交通規制のじゆん守

常に信号、道路標識、標示を厳守する。

三、適正な運行の計画

運行計画は無理のないよう余裕をもつて計画する。

四、過労運転の防止

すいみん、休養を十分にとり体調を十分ととのえるようにし、運転中眠くなつたときは、早めに休憩をする。

五、歩行者、自転車の保護

歩行者や自転車に対しては細心の注意を払い歩行者保護につとめる。

六、飲酒運転の防止

「飲んだら乗らない」「乗るなら飲まない」「乗るなら飲ませない、飲んだら運転させない」をお互いが守り合う

お知らせ

農業構造改善室がスタート

町は五十年秋施行より約七年に亘つて実施する圃場整備事業、及びこの間に取り組む第二次構造改善事業等へ積極的に取り組むため、農業構造改善室を設け、八月一日付で発足します。

室は、圃場整備係と構造改善係の二係を設け、室長は、農業委員会事務局長　中野博文兼務、圃場整備係長　角木裕係員　繁沢裕司、構造改善係長を　農産係長義務の前田晃宏が担当します。

◎善意

一、香典返し寄付
浅田　佐々木正一　父　末松死亡
宗頭　杉本　勇　兄　信一死亡
中村　木原　義治　父　益蔵死亡
生島　田辺　繁夫　母　テル死亡
下中小野　兼重　香　父　豊一死亡
中村　岡田　英男　父　孝雄死亡

二、見舞返し寄付
小島　大西　ミヨ
野波瀬　安野　松一

◉勲記勲章

勲六等瑞宝章
豊原　村岡語朗
勲八等瑞宝章
宗頭　田中　滋
正七位
土手　香月　斌
正四位
野波瀬　大藤正直

悲喜交々

昭和五十年六月二十五日から七月二十四日まで

出生

野波瀬　宮本幸子　清文
東方　小林慎和　英昭
野波瀬　田中和美　征二
麓　山根涼子　勇治
向山　山本順子　寛

死亡

宗頭　杉本信一　五六才
中村　木原益蔵　六六
野波瀬　内田愛子　二二
下中小野　兼重豊一　七七
中村　岡田孝雄　六七
土手　山城ウメ　七八

自衛官募集

来春卒業される高校生の皆さんへ

只今防衛庁では、次の募集を受付けています。

○防衛大学生
○防衛医科大学生
○航空学生
○一般曹候補学生
○看護学生
○婦人自衛官
○2等陸海空士

将来性抜群、安定した待遇と楽しい生活

身分は、特別職国家公務員です。

応募手続は町役場で、細部は町役場総務課までお問い合せ下さい。

◉善行表彰

明倫小二年　有馬　茂
明倫小三年　河崎博彦
中村部落

両人は六月二十五日役場前電話ボックス附近で現金五〇〇円を拾い宗頭警察官駐在所へ届けたので表彰されたものです。